

事務事業名	中村地区子ども会育成会連絡協議会運営事務				担当	教育委員会 生涯学習課 中村分館	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-2902	
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	地区の子ども会育成会の連絡調整と子ども達の育成を目的に組織され、次の事業を行うため、補助金を交付する。 ・小学5年生のリーダーキャンプ研修（夏休み1泊2日） ・球技大会（小学生全員対象） ・中学生参加事業（バス研修） ・会長会議 ・育成会数17 ・総事業費611,634円（市子連より補助金106,000円）						

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 23年度実績 各種事業等の企画立案・資料作成・通知発送と取りまとめ、事業実施の際の随行指導、補助金交付事務。5年生はにのみや野外活動センターを利用して実施。 総会・役員会年1回、単位会長会議年5回。 24年度計画 23年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア	会員数	人	733	747	737	771	792
	イ	会議開催数	回	6	6	7	7	7
	ウ	事業実施数	回	6	6	6	5	5
	エ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中村地区子ども会育成会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア	育成会の数	個	17	17	17	17	17
	イ	小中学生の数	人	756	771	764	801	824
	ウ	事業参加者数	人	102	461	454	477	480
	エ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 1）単位子ども会育成会の相互協調・子ども会活動の活性化 2）リーダーの育成と小中学生の健全育成を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア	育成会の事業参加割合	%	100	100	100	100	100
	イ	地区小中学生の事業参加割合	%	13.5	59.8	59.4	59.6	58.3
	ウ	地区小中学生の子供会育成会加入率	%	9.70	96.9	96.5	96.3	96.1
	エ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 子ども会育成会活動の活性化、小中学生の健全育成	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア	参加者の満足度	%	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
	エ							

(2) 総事業費の推移				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	110	0	0	106	0
			事業費計（A）	千円	110	0	0	106	0
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
			延べ業務時間	時間	200	240	240	240	0
			人件費計（B）	千円	836	973	1,024	1,018	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	946	973	1,024	1,124	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	育成会相互の連絡協調による活動の活性化を図り、子どもたちの健全育成を図るため、実施。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	子どもの減少と地域の人々とのふれあいや関わりの減少と学校週5日制に伴う休日の過ごし方の充実が必要になってきている。役員（指導者）のなり手がなく、順番で1年間義務的になっている。リーダー研修は自由参加で実施している。5学年の約半数が参加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域のふれあいが減少してきており、今後は週休2日の利用を地域で考えた事業等の充実が必要である。しかしながら、子どもの減少や学校の部活動への参加、塾通い等により地域での事業も困難であるという保護者の意見もある。

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子どもの健全育成は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域のリーダー育成、子どもたちの健全育成は市の重要な責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象は地区子ども会育成会連絡協議会であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 相互の連絡調整と子どもの健全育成が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地区育成会の連絡協調の場がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 育成会の自己負担だけでは会の運営が困難である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議の開催・補助金交付・キャンプ等の引率指導の最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 事業ごとに参加者から負担を徴収しているので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								